

## 第1章

# 研究会の目的、 参加団体等



## 1. 「国別NGO研究会(スリランカ)」概要

本研究会は、「スリランカにおける我が国NGOの活動能力向上や、NGOとODAの連携のための方策を調査・研究し、草の根レベルに裨益する具体的な経済・社会開発プロジェクトの形成及び実施を視野に入れて、今後のスリランカにおける我が国NGOの活動の方向性や支援のあり方を提言すること」を目的としている。

2003年6月に外務省経済協力局民間援助支援室より、上記を目的とする平成15年度「国別NGO研究会(スリランカ)」の公示(企画書等提出招請)があった。外務省が主催するこの研究会の目的は、「スリランカ復興開発NGOネットワーク」の目指すものと合致していたため、同ネットワーク共同で企画書を作成し、これに応募した。その後、外務省に提出した企画書が7月28日に採択され、2003年9月中旬より同ネットワークでこの事業を実施してきた。総予算は約600万円で、実施期間は2004年3月までの約7ヶ月間である。

本研究会の運営は、5つのNGOのメンバーから成る運営委員会によって行われ、事務局は、スリランカ復興開発NGOネットワークの事務局でもあるブリッジ エーシア ジャパンに置かれてきた。

## 2. 「スリランカ復興開発NGOネットワーク」概要

アムダ(AMDA)、ブリッジ エーシア ジャパン(BAJ)、ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)の3団体は、2002年6月に実施された財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部主催のスリランカ北部調査に参加した。約20年にわたる内戦の戦禍による人々の惨状を理解した3団体は、帰国後、スリランカの

現状と迅速な復興開発の必要性を日本社会に訴える共同アピールを発表した。そして、すでにスリランカ北東部での活動を始めていたWVJはその活動のさらなる展開を進め、まだ活動していなかったAMDAとBAJは事業実施準備をそれぞれで開始した。2003年に入ってから、この3者の間で連絡や情報交換が行われ、4月にはWVJの呼びかけで、スリランカで活動しているNGO、或いは今後開始しようとしているNGOを構成団体として、スリランカ復興開発NGOネットワークが設立された。当初の事務局はWVJに置かれ(2003年7月からはBAJが事務局を担当)、WVJ、BAJの他に日本紛争予防センター(JCCP)、反差別国際運動(IMADR)が参加した。その後、徐々に参加団体が増え、2004年3月現在、以下の11団体がメンバーとなっ

団体名	参加時期
(特活)日本紛争予防センター(JCCP)	2003年4月
反差別国際運動(IMADR)	同上
(特活)ブリッジ エーシア ジャパン(BAJ)	同上
(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)	同上
(特活)アジア太平洋資料センター(PARC)	2003年5月
(財)オイスカ	同上
(特活)BHNテレコム支援協議会(BHN)	2003年9月
マリー・ストープス・インターナショナル(MSI)	同上
(特活)アジアを紡ぐ会(ASA)	2003年10月
(財)ケア・ジャパン	2004年2月
自立のための道具の会(TFSR)	同上

ている。

## 3. 研究会の活動概要

平成15年度「国別NGO研究会(スリランカ)」

では、毎月1回の研究会或いは会合を開き、2004年1月には参加NGOによる合同現地調査を実施した。その主な概要は、下記の通りである。

2003年9月25日

第1回研究会「スリランカ和平の現状ならびに見通しと日本の対応、とりわけNGOの役割」

2003年10月31日

第2回研究会「スリランカで異民族間の融和を進めるために日本のNGOがなすべきこと」

2003年11月28日

第3回研究会「今後の復興開発支援における日本の民間セクターの連携・協力の可能性」

2003年12月10日 合同現地調査検討会

2004年1月18日～2月1日

スリランカ合同現地調査

2004年2月10日 提言検討会

2004年3月29日 事業報告会

国別NGO研究会(スリランカ)の実施団体であるスリランカ復興開発NGOネットワークの目的、活動については、下記の設置要領を参照されたい。

スリランカ復興開発NGOネットワーク

設置要領

#### 1. 名称

「スリランカ復興開発NGOネットワーク」とする。

#### 2. 目的

現在スリランカで復興・開発の事業を行う日本のNGO、及び今後当地にて事業を行う具体的な計画を持つ日本のNGOが、将来にわたり継続的に活動できるよう、その基礎を作ることに寄与する。

#### 3. 活動

(1) 月1回程度の会合を持ち、NGO間の意見・情報交換を行う。

(2) NGO間での相互協力、共同事業に向けての模索を行う。

(3) 日本政府等からの資金獲得にあたって連携し、共同で働きかけを行う。

(4) 必要に応じて共同プレスリリース等の広報活動を行う。

(5) その他スリランカ復興開発支援に付随する活動を行う。

#### 4. 参加資格

スリランカで事業を実施中、あるいは具体的な事業を計画中のNGO団体。

#### 5. 活動期間

2004年3月31日まで。但し、状況に応じて延長。

#### 6. 参加団体(2004年2月10日現在、下記11団体が参加)

(特活)アジア太平洋資料センター(PARC)

(特活)アジアを紡ぐ会(ASA)

(財)オイスカ

(財)ケア・ジャパン

自立のための道具の会(TFSR)

(特活)日本紛争予防センター(JCCP)

反差別国際運動(IMADR)

(特活)BHNテレコム支援協議会(BHN)

(特活)ブリッジ エーシア ジャパン(BAJ)

マリー・ストープス・インターナショナル(MSI)

(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)

なお、当ネットワークは2003年9月から2004年3月まで実施される外務省の「国別NGO研究会(スリランカ)」事業の実施団体となり、上記で下線を引かれた団体が、研究会の運営委員会を構成する。

ネットワーク事務局：特定非営利活動法人ブリッジ エーシア ジャパン

